

令和元年度第2回山口県食の安心・安全審議会における意見等への回答

議題

- (1) 令和2年度山口県食品衛生監視指導計画（案）について（委員意見等：p.1～p.4）
- (2) 令和2年度食の安心・安全関連事業について（委員意見等：p.5～p.6）
- (3) 食を巡る事案への対応状況等について（委員意見等：p.7）

その他（委員意見等：p.7）

【議題（1）令和2年度山口県食品衛生監視指導計画（案）への御意見等】

委員意見等	回答等
<p>藤田健委員（山口大学経済学部 准教授）</p> <p>【全体：実績・成果等】</p> <p>前回の計画に対する実績から、何か問題点はあったか。</p>	<p>○令和元年度の計画については、概ね計画どおりに実施されました。</p>
<p>【全体：前回の計画との違いについて】</p> <p>前回の計画に比べて、大きく変更になった点を教えてほしい。</p> <p>また、国の方針の変更などがあれば、それについても教えてほしい。</p>	<p>○来年度計画では、令和3年6月の法施行に向け、HACCP に沿った衛生管理の円滑な導入の指導と衛生管理の実施状況の確認を行うこととしています。</p> <p>○国も、今年3月に「食品衛生に関する監視指導の実施に関する指針」を改正し、HACCP による衛生管理の円滑な導入に向けた対応を自治体に求めています。</p>
<p>【概要 p.1：重点監視事項：HACCP の導入】</p> <p>HACCP の導入を進める中で、本計画に取り込んだ事業者からの意見・要望等はあるか。</p>	<p>○事業者等からの意見を踏まえ、業界団体からの支援が期待できない小規模事業者向けに、業種別講習会を企画・実施し、きめ細やかな指導を行うこととしています。</p>
<p>【本文 p.4：施設への立ち入り検査に関する事項：重要度が高い業種】</p> <p>現時点で、重要度が高い業種は決めているか。</p> <p>別表2のランクAを見ればよいのか。</p>	<p>○別表2が重要度に応じて業種を区分したもので、ランクAが重要度が高い業種です。</p>

<p>【本文 p. 4～5：一斉監視指導等の年間計画】</p> <p>2020年夏のオリンピック開催にあわせて、例年とは異なるような監視強化などは計画しているか。</p>	<p>○オリンピック開催期間中の集中監視等は計画しておらず、年間計画により監視指導等を行うこととしています。インバウンド消費の増加に対しては、特に、4月の「みやげ品表示一斉監視」時に、みやげ物の表示の監視指導を行うこととしており、宿泊施設や飲食店に対しては、通常監視・指導の中で、食中毒予防の強化を図っていくこととしています。</p>
<p>【本文 p. 10：関係者相互間の情報及び意見の交換】</p> <p>訪日外国人に対する食品衛生に関する注意喚起などは検討しているか？</p> <p>例：外国語（英語・中国語・韓国語）によるポスターの掲示等</p>	<p>○正しい手洗い方法に関する啓発ポスターを英語表記で作成し、各営業施設でも掲示できるよう、県の「食の安心総合情報ホームページ」に掲載しています。</p>
<p>溝手朝子委員（山口県立大学看護栄養学部 教授）</p> <p>【全体質問】</p> <p>令和2年度山口県衛生監視指導計画について、計画が上手く機能したかどうかの評価指標として考えているものは何か。それぞれに目標値などがあるのか。</p>	<p>○評価指標については、①監視指導件数と②収去検査件数を用いることを考えています。</p> <p>○また、それぞれの目標値については、次のとおり考えています。</p> <p>①監視指導件数：別表2に掲載の業種ごとに前年度末の施設数に標準監視回数を乗じた数を合計した数</p> <p>②収去検査件数：別表3と別表4に掲載の予定検体数を合計した数</p>
<p>【本文 p. 2：監視指導の実施体制等について】</p> <p>(1)「3 国及び自治体との連携体制」の(3)における食品表示の適正化について、「農林水産省中国四国農政局山口県拠点と連携して」と記載しているが、これまでの連携した合同パトロール実績を教えてください。</p>	<p>○県では農林水産省中国四国農政局山口県拠点と連携して合同パトロールを実施しています。このパトロールは県単独で行うこともあり、これらを含めた令和元年度の実績は253店舗です。</p>

<p>(2)「4 農林水産部局との連携体制」について、フードチェーン各段階を所管する部局が実質的連携をとることは、とても重要だと思う。</p> <p>そこで、生産・流通段階で行っている具体的監視指導の内容、及び生活衛生課と農林水産部局との具体的な連携を教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○生産・流通段階で行っている監視指導の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・米トレーサビリティ法による監視活動(巡回指導)(ぶちうまやまぐち振興課) ・医薬品医療機器等法や飼料安全法に基づき、動物用医薬品や飼料の適正使用に向けた農場巡回を実施(畜産振興課) ・飼料安全法に基づき、飼料の適正な製造・販売に向けて、飼料会社への立入を実施(畜産振興課) ○生活衛生課と農林水産部局との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生法に定める農薬の残留基準違反やその疑いのある事案に関する情報共有 ・食品衛生事業者等を対象とした会議における米トレーサビリティ法の周知 ・JGAP(農業生産工程管理手法)の推進における情報共有 ・農場における農場HACCPから食品の製造・出荷・販売におけるHACCPへとフードチェーン各段階における一貫した安全性の確保の取組 ・養殖魚介類等の水産用医薬品の使用情報や衛生管理等の情報共有
<p>【本文 p.6 : 一斉監視指導の時期について】</p> <p>ノロウイルスによる食中毒の発生時期は一般的に冬期といわれているが、資料3の「3 食中毒発生状況」では、1月、3月、5月と予防強化期間後に発生している。</p> <p>監視指導計画で設定されている予防強化期間の時期を、実態に合わせてずらすことは可能か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○御指摘のとおり、令和元年のノロウイルス食中毒は、1月以降に発生していますが、この発生状況は年により異なっています。 ○そのため、県では、全国のノロウイルス食中毒の発生状況を踏まえ、この食中毒が増加し始める11月以前の10月からの4か月間を予防強化期間に設定して啓発等を実施しています。 ○一斉監視指導の時期については、複数年の食中毒の発生状況を踏まえ、適切な時期に実施すること検討いたします。
<p>【本文 p.7 : 食品等の収去・検査等について】</p> <p>予定件数について、増加しているものはあるか。</p> <p>また、保健所検査予定数については、保健所ごとでほぼ均一か。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○検査対象物質の検出状況等を踏まえ、検査予定件数を見直しており、令和元年度と比較して微減の状況にあります。 ○保健所ごとの検査予定数については、各保健所管内の対象施設数と種類等に応じて設定しています。
<p>【本文 p.10 : 関係者相互間の情報及び意見の交換の実施について】</p> <p>(1)食の安心に関するホームページへのアクセスや、メール配信を受信しない層をターゲットとした情報発信方法を教えてください。</p> <p>また、ホームページへのアクセス数やメール配信登録者数がわかれば、年次推移と共に教えてください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○より幅広い年齢層への情報発信をめざし、令和元年度から、市町の保健センター、公立図書館、幼稚園及び保育園の協力を得て、やまぐち食の安心・安全推進協議会が作成する「やまぐち食の安心・安全情報誌」の配架や施設利用者への配布等を開始しました。

	<p>○食の安心総合情報 HP アクセス数とメール登録者数の推移（過去5年）は次表のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="1126 248 2089 448"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アクセス数 (回/月)</td> <td>2,111</td> <td>1,055</td> <td>831</td> <td>753</td> <td>782</td> </tr> <tr> <td>登録者数 (人) ※</td> <td>1,226</td> <td>2,005</td> <td>2,374</td> <td>2,760</td> <td>2,745</td> </tr> </tbody> </table> <p>※H26～H28：累計登録者数、H29～H30：登録者実数 H30年度の計画改定以降、H29年度の登録者実数の維持を目標とする</p>	区分	H26	H27	H28	H29	H30	アクセス数 (回/月)	2,111	1,055	831	753	782	登録者数 (人) ※	1,226	2,005	2,374	2,760	2,745
区分	H26	H27	H28	H29	H30														
アクセス数 (回/月)	2,111	1,055	831	753	782														
登録者数 (人) ※	1,226	2,005	2,374	2,760	2,745														
<p>(2) 食品の購入から喫食までの取扱いについて、特に気温が上がる夏期に食品を購入し、家の冷蔵庫に保管するまでの間に起こり得ることを、リアルに伝える工夫をしてほしい。</p>	<p>○講習会などでは、家庭での食事作りの各行程（購入から残った食品の扱いまで）ごとに気を付けるポイントを「家庭でできる HACCP」として紹介しています。</p> <p>○また、食中毒予防の三原則「食品に菌をつけない、ふやさない、やっつける」に基づき、普段の食事作りの各行程で気を付けるポイントを講習会の参加者に考えていただくなどの工夫をしています。</p>																		
<p>(3) 野生鳥獣肉の家庭での適切な取り扱い方法や調理法に関する情報は、どのように発信しているのか。</p>	<p>○県の「食の安心総合情報ホームページ」に野生鳥獣肉の適切な取扱いに関する情報やリーフレットを掲載しており、イベントや講習会ではリーフレットを配布するなど周知に努めています。</p> <p>○農林水産政策課や自然保護課の開催する野生鳥獣肉に係る研修会では衛生管理に関する講習を行っており、また、野生鳥獣肉の食利用に関するハンドブックや「やまぐち食の安心・安全情報誌」、「やまぐち食の安心・安全メール」に野生鳥獣肉の衛生的な取扱いについて掲載・配布・配信しています。</p>																		

【議題（２）令和２年度食の安心・安全関連事業への御意見等】

委員意見等	回答等																																																																		
<p>藤田健委員（山口大学経済学部 准教授）</p> <p>【全体質問】</p> <p>これまでと比べて、予算配分が変わったところがあれば教えてほしい。</p>	<p>○予算拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ HACCP 導入促進事業 ・ やまぐち食育推進計画評価事業 																																																																		
<p>【全体意見】</p> <p>項目ごとの予算の後に「前年比±〇%」、あるいは「〇千円増／減」と表記して、前年度予算金額との差額を示してほしい。</p> <p>また、予算が減っている項目については、その理由（県財政の削減、国の予算削減、計画の大幅変更など）を簡単に記述してほしい。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="1122 480 1189 520"></th> <th data-bbox="1189 480 1653 520">項目</th> <th data-bbox="1653 480 1839 520">予算の増減</th> <th data-bbox="1839 480 2130 520">減額理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="1122 520 1189 1414" rowspan="18">1 食の安全</td> <td data-bbox="1189 520 1653 560">HACCP 導入促進事業</td> <td data-bbox="1653 520 1839 560">+943 千円</td> <td data-bbox="1839 520 2130 560">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 560 1653 600">JGAP 取得加速化推進事業</td> <td data-bbox="1653 560 1839 600">-797 千円</td> <td data-bbox="1839 560 2130 600">国の予算削減</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 600 1653 639">環境にやさしい安心・安全な農業推進事業</td> <td data-bbox="1653 600 1839 639">-1,938 千円</td> <td data-bbox="1839 600 2130 639">国の予算削減</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 639 1653 679">安心・安全農作物づくりサポート事業</td> <td data-bbox="1653 639 1839 679">+1,412 千円</td> <td data-bbox="1839 639 2130 679">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 679 1653 719">肥料取締対策事業</td> <td data-bbox="1653 679 1839 719">+72 千円</td> <td data-bbox="1839 679 2130 719">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 719 1653 759">家畜伝染病予防事業</td> <td data-bbox="1653 719 1839 759">+2,451 千円</td> <td data-bbox="1839 719 2130 759">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 759 1653 799">動物由来感染症対策事業</td> <td data-bbox="1653 759 1839 799">-169 千円</td> <td data-bbox="1839 759 2130 799">国の予算削減・事業の見直し</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 799 1653 839">動物薬事等監視指導事業</td> <td data-bbox="1653 799 1839 839">-70 千円</td> <td data-bbox="1839 799 2130 839">国の予算削減・事業の見直し</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 839 1653 879">飼料安全性確保強化指導事業</td> <td data-bbox="1653 839 1839 879">±0 円</td> <td data-bbox="1839 839 2130 879">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 879 1653 919">魚類防疫総合推進事業</td> <td data-bbox="1653 879 1839 919">±0 円</td> <td data-bbox="1839 879 2130 919">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 919 1653 959">漁場環境監視等強化対策事業</td> <td data-bbox="1653 919 1839 959">±0 円</td> <td data-bbox="1839 919 2130 959">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 959 1653 999">内水面漁業振興対策事業</td> <td data-bbox="1653 959 1839 999">±0 円</td> <td data-bbox="1839 959 2130 999">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 999 1653 1038">食肉衛生取締事業</td> <td data-bbox="1653 999 1839 1038">+1,041 千円</td> <td data-bbox="1839 999 2130 1038">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1038 1653 1078">食品の安全確保事業</td> <td data-bbox="1653 1038 1839 1078">-1,272 千円</td> <td data-bbox="1839 1038 2130 1078">事業の見直し</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1078 1653 1118">食品衛生検査充実強化事業</td> <td data-bbox="1653 1078 1839 1118">-1,181 千円</td> <td data-bbox="1839 1078 2130 1118">事業の見直し</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1118 1653 1158">県産農水産物流通対策事業</td> <td data-bbox="1653 1118 1839 1158">-1,188 千円</td> <td data-bbox="1839 1118 2130 1158">事業の見直し</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1158 1653 1198">監視事務対策事業</td> <td data-bbox="1653 1158 1839 1198">±0 円</td> <td data-bbox="1839 1158 2130 1198">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1122 1198 1189 1414" rowspan="3">2 食の安心</td> <td data-bbox="1189 1198 1653 1238">食の安心・安全充実強化事業</td> <td data-bbox="1653 1198 1839 1238">+9 千円</td> <td data-bbox="1839 1198 2130 1238">—</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1238 1653 1278">消費者対策総合推進事業</td> <td data-bbox="1653 1238 1839 1278">-1,878 千円</td> <td data-bbox="1839 1238 2130 1278">市町補助金の減額</td> </tr> <tr> <td data-bbox="1189 1278 1653 1414">一般指導対策事業</td> <td data-bbox="1653 1278 1839 1414">-4,440 千円</td> <td data-bbox="1839 1278 2130 1414">令和元年度単年度事業（システム改修等）終了</td> </tr> </tbody> </table>		項目	予算の増減	減額理由	1 食の安全	HACCP 導入促進事業	+943 千円	—	JGAP 取得加速化推進事業	-797 千円	国の予算削減	環境にやさしい安心・安全な農業推進事業	-1,938 千円	国の予算削減	安心・安全農作物づくりサポート事業	+1,412 千円	—	肥料取締対策事業	+72 千円	—	家畜伝染病予防事業	+2,451 千円	—	動物由来感染症対策事業	-169 千円	国の予算削減・事業の見直し	動物薬事等監視指導事業	-70 千円	国の予算削減・事業の見直し	飼料安全性確保強化指導事業	±0 円	—	魚類防疫総合推進事業	±0 円	—	漁場環境監視等強化対策事業	±0 円	—	内水面漁業振興対策事業	±0 円	—	食肉衛生取締事業	+1,041 千円	—	食品の安全確保事業	-1,272 千円	事業の見直し	食品衛生検査充実強化事業	-1,181 千円	事業の見直し	県産農水産物流通対策事業	-1,188 千円	事業の見直し	監視事務対策事業	±0 円	—	2 食の安心	食の安心・安全充実強化事業	+9 千円	—	消費者対策総合推進事業	-1,878 千円	市町補助金の減額	一般指導対策事業	-4,440 千円	令和元年度単年度事業（システム改修等）終了
	項目	予算の増減	減額理由																																																																
1 食の安全	HACCP 導入促進事業	+943 千円	—																																																																
	JGAP 取得加速化推進事業	-797 千円	国の予算削減																																																																
	環境にやさしい安心・安全な農業推進事業	-1,938 千円	国の予算削減																																																																
	安心・安全農作物づくりサポート事業	+1,412 千円	—																																																																
	肥料取締対策事業	+72 千円	—																																																																
	家畜伝染病予防事業	+2,451 千円	—																																																																
	動物由来感染症対策事業	-169 千円	国の予算削減・事業の見直し																																																																
	動物薬事等監視指導事業	-70 千円	国の予算削減・事業の見直し																																																																
	飼料安全性確保強化指導事業	±0 円	—																																																																
	魚類防疫総合推進事業	±0 円	—																																																																
	漁場環境監視等強化対策事業	±0 円	—																																																																
	内水面漁業振興対策事業	±0 円	—																																																																
	食肉衛生取締事業	+1,041 千円	—																																																																
	食品の安全確保事業	-1,272 千円	事業の見直し																																																																
	食品衛生検査充実強化事業	-1,181 千円	事業の見直し																																																																
	県産農水産物流通対策事業	-1,188 千円	事業の見直し																																																																
	監視事務対策事業	±0 円	—																																																																
	2 食の安心	食の安心・安全充実強化事業	+9 千円	—																																																															
消費者対策総合推進事業		-1,878 千円	市町補助金の減額																																																																
一般指導対策事業		-4,440 千円	令和元年度単年度事業（システム改修等）終了																																																																

		項目	予算の増減	減額理由
3 参 画 と 協 働		やまぐち食育推進計画評価事業	+276 千円	—
		食に関する指導普及事業	-185 千円	国の予算削減
		やまぐち「もったいないのこころ」広めたい事業	-435 千円	事業の見直し
		ぶちうま！維新推進事業	±0 円	—
		学校給食県産食材利用拡大事業	±0 円	—

【議題（3）食を巡る事案への対応状況等への御意見等】

委員意見等	回答等
<p>岩崎喜美子委員（公募）</p> <p>【p.2：食品の自主回収状況について】</p> <p>今年度自主回収されたもののうち、クッキー、漬物、雑炊、プリンは、表示の欠落、誤記によるものである。</p> <p>資料1の本文p.5「(1) みやげ品（食品）の表示一斉点検」において、実施時期が4月のみとなっているが、不定期に行う必要があるのではないか。</p>	<p>○食品表示の監視については、4月に実施する「みやげ品（食品）の表示一斉点検」のほか、例年5月から11月にかけて実施する「食品表示合同パトロール」や、7月から8月にかけて実施する「夏期食品一斉監視指導」、12月に実施する「食品、添加物等の年末食品一斉監視」等においても行っています。</p>
<p>【p.3：食中毒発生状況について】</p> <p>ヒラメの刺身による食中毒について、予防方法が確立しているのに3件発生しているが、保健所は予防方法を教えているのか。</p> <p>また、事業者に対し、食中毒に関する研修等の受講を義務づける必要があるのではないか。</p>	<p>○保健所では講習会等により、ヒラメの刺身の食中毒の原因物質であるクドア・セプトンクタータは、-20℃で4時間以上の冷凍又は、中心温度75℃5分間以上の加熱で病原性が失われることについて、周知を行っているところです。</p> <p>○しかし、この処理方法では、刺身としての価値が失われる等の問題点があることから、他の予防方法について研究が進められている状況にあります。</p> <p>○引き続き、ヒラメを原因とする食中毒の予防対策に努めてまいります。</p>

【その他の御意見等】

委員意見等	回答等
<p>松村豊委員（山口県食品産業協議会 会長）</p> <p>新型コロナウイルスについて、報道等で手洗いの時間は30秒と言われているが、2度洗いの方がウイルスを落とすのに有効との説明はされていない。</p> <p>県として2度洗いを奨励した方が良いのではないかと。</p>	<p>○県としては、あくまで県民の方々の方が日常生活の中で感染症予防のために取り組みやすいう、30秒の手洗いを推奨しています。</p>